

日頃は、南丹市の教育行政の推進にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

教育長に就任してから「受けたい教育がある南丹市」を目指して教育行政を推進してまいりました。今の社会は、変動的で不確実で複雑で曖昧な時代（VUCAの時代）と言われています。その様な時代の中にあって教育現場では、いじめや不登校児童生徒の増加等の課題があります。また、昨年度より「全国学力学習状況調査」の結果が各教育局ごとに公表されました。本市をはじめ南丹教育局管内（南丹市・亀岡市・京丹波町）の学力的課題が具体的な数値として明らかになりました。

南丹市教育委員会としましては、いじめや不登校、学力的課題に積極的に取り組みたいと考えています。まず、学校や学級が全児童生徒にとって心理的安全性が感じられる空間となるよう、市内の全小中学校の教育基盤に「人権教育の推進」を位置づけています。それぞれの違いが認められる安心安全な学校だからこそ、すべての児童生徒が自らの可能性を伸ばそうと主体的に学習に取り組み、中学校卒業時には「夢と希望を持って」進路が実現できると考えています。

本市では、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進できるよう「教育環境の整備」や「教師力の向上のための研修会等の充実」に努めています。「教育環境整備」としては、南丹市版「こどもカルテ」のソフト開発や「南丹市版アウトリーチシステム」の構築、読書環境整備事業（全小学校に表紙見せ書架の設置・中学校に集中ブースの設置）、AIドリル「すらら」の導入等を行ってきました。また、教師力の向上については、縦の接続（ブロック連絡協議会）と横の連携（全小中学校における授業研究会）という視点で研修会等の充実を図っています。【資料①】

縦の接続では、南丹市の全教育保育施設を4つのブロックに分け、それぞれにテーマを掲げて研究する「ブロック連絡協議会」を組織し、教師力向上に取り組んでいます。また、各ブロックのテーマに関係する大学教授からご指導を受けています。夏季に実施する一斉研修会では、各ブロックの研究成果の共有や課題克服に向けた講演会等を実施しています。【資料②】

「こども家庭センター」が昨年度から教育委員会の所管となったため、今年度は京都大学大学院教育学研究科の明和政子教授にお世話になり、就学前教育・保育の大切さについて講演を行っていただきます。夏季一斉研修会では、南丹市立の小・中学校や幼稚園、認定こども園、保育所だけでなく、聖カタリナ学園聖家族幼稚園や南丹のぞみ園にも参加を呼びかけたいと考えています。【資料③】

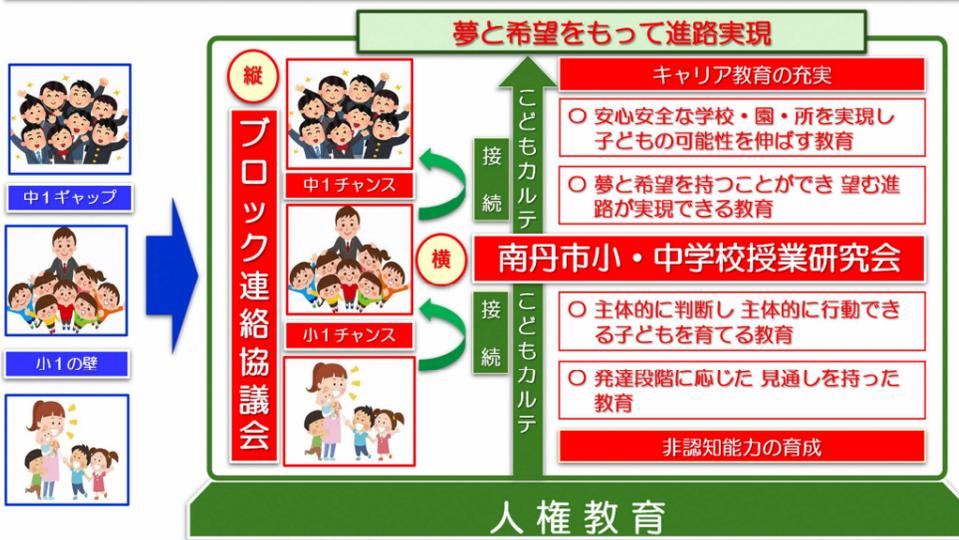
学力向上については、「南丹市小・中学校授業研究会」を全小・中学校で実施し、「分かる授業」を目指して授業力の向上に取り組んでいます。また、各校の研究発表会では、児童生徒の状況を分析し、授業改善や家庭学習習慣の定着に向けた具体的な取組を計画実施しています。

保護者や地域の皆様に南丹市の教育内容をご理解いただき、地域総がかりで課題克服に向けて取り組むことができると考えています。

今後とも南丹市教育の推進にご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

南丹市教育委員会 教育長 國府 常芳

資料①：「子どもありき」「こどもまんなか」の視点で教育行政を展開



資料②：「ブロック活動」の更なる充実で 教師力と教育の質の向上



資料③：令和7年度南丹市教職員保育士夏季研修大会

～研究活動～
ヒト特有の脳とそこを「発達・進化」の道すじから探る形質的特徴と同様、目には見えないヒトの脳一こころのはたらきも、進化の産物です。ヒトを特徴づける脳一こころのはたらき (what) を知るためには、それが、「いつ (when) - どのように (how) - なぜ (why) 生まれてきたのか」を理解することが必要です。明和研究室では生物としてのヒトの脳とそこを、「発達と進化」の時間の流れから実証的に解き明かそうとしています。

京都大学大学院 教育学研究科 明和政子教授
日時 令和7年8月22日(金) 午後
場所 アスエル園部

「受けたい教育のある南丹市」をめざして



学力向上の取組について (約27分)



◇各幼稚園・小学校・中学校における特色ある取組み◇

園部幼稚園



異年齢のかかわりを通して生まれる育ち合い

進級をして大きい組になった5歳児達が固定遊具のいろいろな技に挑戦する姿が見られています。雲梯、のぼり棒、ブランコ渡り等々…出来るようになったことが嬉しくて、更に意欲的に挑戦している5歳児の傍には、様子をじっと見ている3歳児4歳児の姿があります。「お姉ちゃんたちすごいな！私もやってみよう！」と5歳児の姿に心が動かれ、自分から出来ることに挑戦しようとする姿が見られています。異年齢で過ごす中で、様々な人とのかかわりを学ぶと共に、それぞれの遊びが更に充実するよう、楽しい！もっとやりたい！と夢中になって遊ぶ体験を大切にしています。

八木中央幼稚園



絵本って楽しいな！
～見て、感じて、想像して、浸って～

今年度、絵本室にソファやクッションを配置し、くつろいで絵本を楽しむ環境を整えました。毎週金曜日の貸し出し絵本の日になると、こどもたちは絵本室にやって来て、好きな絵本を選びます。絵本を選ぶ視点は様々ですが、ひとりですっきりみたり、保育者に読んでもらったり、友達と一緒に絵本をみながら話したりすることも達の表情から楽しんでいることがわかります。居心地のよい空間の中で絵本の世界に十分入り、絵本が大好きになってほしいと願っています。

園部小学校



食育の授業



給食献立表をHPに掲載



給食掲示板

健康な食生活を目指して

本校は令和6年度より3年間、食に関する指導充実事業の指定を受け、食育の取り組みに力を入れています。児童への食生活アンケートの結果からは、「朝食の喫食率の向上」、「栄養バランスのとれた朝食の大切さ」について児童の理解を深める必要性が明らかになりました。そのため、栄養教諭による食育授業や給食指導、HPや給食掲示板による発信なども行っています。今年度も栄養教諭を中心に、きょうと食いく先生や地域の専門家の方とも連携しながら指導や各種取り組みをすすめ、児童の食に対する興味関心を高めるとともに課題改善を図っていきます。

園部第二小学校



すららに取り組む様子

『すららカップ』とは、ある一定の期間（期間の長さについては2週間）に、「AIドリルすらら」に自主的に取り組み、クリアした問題数を成果として、努力の量を競い合う取組です。自分に合った目標を設定することもできます。本校では『すららカップ』を活用し、「もっとできるようになりたい。」や「できるようになるために、復習したい。」という児童の思いを大切に、今学習していることに取り組んだり、これまでに習ったことを振り返ったりするなど、主体的に自分の課題にチャレンジし、計画的に学習を進めています。

八木西小学校



城山について学ぶ子どもたち

八木西小学校では、毎年4月に全校で城山登山を行います。3年生は総合的な学習の時間の学びを進める中で、その城山についてさらに知りたいという思いをもち、城山に詳しいお二人の方から話を聞くことができました。「八木城の一番強い所は堀切があることかな。」「殿様は本丸にいたかもしれない。」など資料や城山の模型を見ながら歴史を学んだり、「自治会の方は城山を大切にされているんだな。」と、地域の大事な場所として守り続けられている方の思いや努力に気付いたりすることができました。今後も、ふるさと学習の一環として、八木町の魅力を追求する学習に取り組んでいきます。

八木東小学校



ニコニコ班で「ほかほか言葉」を集めました
(令和7年度人権月間の取組より)

八木東小学校では、異年齢集団活動「ニコニコ班活動」を大切にしています。1～6年生を10班に分けて、ニコニコ班遊びやニコニコ班掃除に取り組んでいます。特に、ニコニコ班遊びは、年間6回実施しており、6年生から順に、遊びの計画・進行をします。2～6年生がよい手本を示してくれるため、1年生も上手に計画・進行ができます。異年齢集団活動を通して、高学年は下級生への思いやりの心を育み、低学年は、上級生の姿から様々なことを学んでいます。今年度も、異年齢とのつながりの中で、児童一人一人の力を伸ばしていきます。

殿田小学校



元気が一番 輝け！
ひよし大好き 殿田の子

4月に全校ハイキングを実施しました。毎年実施しているこの行事には ①地域の資源を活かした「本物に触れる教育」の実現、②かがやき班（異年齢縦割り班）活動を通じた豊かな人間関係づくりの2つのねらいがあります。新たに1年生を迎え、全校児童一人ひとりが安心して活動できるように、リーダーである6年生が考え準備をした結果、雄大な日吉ダムを背景に全校で楽しい時間を過ごすことができました。今後とも小規模校ならではの強みを生かし、「ひよしで育ち・ひよしに学び・ひよしを元気にする」教育活動を推進していきます。

胡麻郷小学校



地域との関わりが、
地域を愛することもたちの育成に

田植えや稲刈り、そして卒業生からのキャリア学習等、昨年度は延べ140人以上の胡麻地域の方々（ごまっ子応援隊）から様々なことを学んだことも達。地域学校協働活動を通して多種多様な経験を積むことができました。今年度はさらにもう一步。キーワードは「つながり」です。「〇〇さん！」と地域の方々と積極的にコミュニケーションをとるなど、児童が活動後、道で出会っても声を掛け合える「心のつながり」を築きます。心がつながり、地域とつながることで、地域を愛し、地域に愛される胡麻っ子を地域の方々と共に育てていきます。

美山小学校



学年を越えて楽しく過ごす美山っ子
(わくわくタイム)

子どもたちが楽しみにしている月曜日の放課後「60分プロジェクト」。自分のしたいことにたっぷり時間を使いながら生き生きと過ごしています。そして、今年度は同じ枠をさらに金曜日の放課後にも確保しました。金曜日の60分間は、遊びをはじめ、児童会活動や体験活動、学力補充など、子どもと教員で考えながら進めています。現在、保護者や地域の方々から関われるような取組を学校運営協議会で考えているところです。月曜日の「わくわくタイム」、金曜日の「ぐんぐんタイム」の名の通り、わくわくする毎日の中で、ぐんぐん成長していく美山っ子です。

園部中学校



社会的事象を自分事として捉え、仲間と論議し、
考えを深め、発表に向けての学習を進めます。

本校では、本年度から課題解決型学習を全学年で導入しています。1年生では、市内の事業所様から提案された課題に対し、納得解を探る学習をします。2年生では、勤労体験を柱に職業に関する学習からさらに深め、キャリア教育を踏まえて将来の展望について考えます。3年生は、平和学習を発展させSDGsにある「貧困・教育・まちづくり・平和と公正」の中から各自で課題を設定し、論文にまとめる学習を進めています。激変する社会の中で、自分事として諸課題に向き合い、探究する視点をもって課題解決する力を育みたいと考えています。

八木中学校



AIドリル「すららタイム」の取組

本校では、毎週木曜日と金曜日の週2日間、タブレット端末を使って朝の10分間、AIドリルに取り組んでいます。このAIドリルは、オンラインで5教科の教科書の学習内容から自分の理解度に応じて問題が出題されるドリルで、令和5年度に南丹市が市内全小中学校に導入したアプリです。子どもたちは自分の得意や苦手に応じて自分のペースで学習を進めていくことができ、授業や家庭学習でも活用しています。

殿田中学校



今年も地域の皆様とともに！

殿田中学校は、地域の皆様の温かい思いに支えられている学校です。学校運営協議会の皆様と教職員で「どんな生徒になって欲しいのか」「そのためにどんなことをしたらいいのか」について熟議を行い、「地域の色々な立場の人との出会いから学び、自己表現し、失敗を恐れず挑戦する生徒」をめざすために、みんなで力を出し合っていこうということになりました。今年も更に前進します！

美山中学校



生徒会主催の学習会の様子
(生徒会スチューデントティーチャー)

未来予測が困難な時代を迎え、子どもたちには変化と主体的に向き合う態度、社会的意識、積極性を育むことが求められています。これまで美山中では、子どもを温かい目で見守ってくださる地域の皆様の協力を得て、地域との絆の深まりやふるさと愛、他者を思いやる心の育成を図ってきました。今後は、これらの取組を生徒の主体性を生かした取組に発展させ、自らの手で企画・運営する力を育てていこうと考えています。今年度は文化祭を二部構成とし、第二部では生徒たちが考えた催しに地域の皆様をお招きする取組を企画しています。

桜が丘中学校



全校道徳の発表の様子

桜が丘中学校では、全校道徳の取組を行っています。この取組は、自分の考えを発表するだけでなく、他者の発表から、多様な考え方等を知る機会の一つとしています。今年は「生きていく上で一番大切なもの」をテーマに発表し、感想交流を行いました。また、今年は「全校集会」の時間を設定し、取組の振り返りと、より充実した学校生活を送るために自ら考える機会を設け、小グループに分かれて考えを交流しています。その活動を通じ、表現する力や相手の思いを理解する力の育成だけでなく、お互いの良さを認め合う機会にもなっています。